

## 地球温暖化による海面上昇

### ～天国に一番近い島、ツバルの危機～

#### <Abstract>

南太平洋に、9つの珊瑚島からなるツバルという小さな国がある。ツバルは今地球温暖化による海面上昇という重大な問題に直面している。ツバルは海拔が低く、潮が満ちて海面が上昇すると、地面の下の海水が噴き出してくる。たださえ海拔の低いツバルにとって、地球温暖化による50cmの海面上昇は国の水没にも繋がるかもしれないのだ。また、同時に島の侵食、それに伴う作物への被害がツバルの土地、「国」がなくなってしまう可能性がある。温暖化のもっとも大きな原因は、私たちの暮らしの中での二酸化炭素の排出である。ツバルの自給自足生活はほとんど二酸化炭素を排出しないにもかかわらず、島の人々は誰よりも先に温暖化の被害を受けているのだ。日本をはじめとする先進国が排出する二酸化炭素によって、罪の無いツバルの人々の暮らしが危機にさらされている。彼らを助けるために、私たちはなにができるのだろうか。

#### <温暖化と海面上昇>

現在、地球は前例がないほどのスピードで温暖化している。その原因は、私たちの暮らしの中で排出される二酸化炭素とされている。気候変動に関する政府間パネル(IPCC)によると、今後100年間で最大5.8度の気温上昇、そして海面上昇は2050年までに約20cm上昇、さらに21世紀末には約9～88cm(の海面上昇が起こり得ると発表している<sup>1</sup>)。平均の海水面が50cm上昇するということは、満潮時には海面は1m以上上昇することを示している。この海面上昇はすでに世界各地で起きており、さらにもうすでに被害が出始めているのだ。それが、今回このレポートの焦点である「ツバル」において見られるのだ。

#### <ツバルの危機>

南太平洋に浮かぶツバルは、とても小さい島国で9つの島の面積全てをあわせても、その大きさは東京の品川区と同じほどしかない。約1万人の人々が住んでいて、小さい国だがとても自然の多いとてもきれいな国である。貧弱な土地であるが、豊かな自然の中この国ではいまだに自給自足の暮らしが続いており、ゆったりとした時間が流れている。人々はタロイモ、ココナッツ、バナナなどを自給のため育てている。ツバルの平均海拔は約2m以下ととても低い。

---

<sup>1</sup> <http://tuvalu.site.ne.jp/problem/index.html>

これが、今ツバルが直面している問題に関係してくる。珊瑚礁からできている島のため、地面の中はスポンジ状になっており、満潮時には海水が押し上げられ地上に噴出されるのだ。潮が満ちると海水に浸水してしまう現状に、温暖化による海面上昇は拍車を掛けている。2007年12月6日、ツバルのアピサイ・イエレミア首相が日本を訪れ、都内で日本経済新聞記者と会い「温暖化で国内の水不足が深刻になっている」<sup>2</sup>と述べた。

#### <被害と対応策>

海面上昇による被害は、まず島の浸食に見られる。島の一番高い地点でも海拔4mほどしかなく、そのため高波が島の上を超えて道を流してしまう。島の浸水は年を重ねるごとに悪化しており、数年前は安全であった島の中心部にも最近では浸水が起こるようになってしまった。海水によって大洪水が発生してしまうのだ。土地の侵食を防ぐため、ヤシなどの根が強い植物を植えて砂や砂利を固定し、地形を保持しようとする試みが行われている。しかしそのような植物も通常の波によって倒されてしまい、それによって海岸線の侵食は進み、最終的には島が消えてしまう可能性が出てくるのだ。波によって削られた部分をコンクリートによって補修する試みも行われているが、コンクリートは永久持続的な材料ではないため完全なる解決策とは言えない状況である。

島の侵食から発生する新たな問題が、水不足である。ツバルにはもともと飲み水に適した水はほとんどなく、前は使っていた井戸の淡水は海水によって塩化してしまった。地下水にも海水が流れ込み、飲み水が足りなくなっている状態である。飲料用としている雨水ですべて賄わざるをえず、干ばつに備えるには今の5倍の貯水容量が必要だという<sup>3</sup>。さらにこの地中への海水の流れ込みは、ただでさえ貧弱なツバルの土地をさらに悪化させた。土地の塩化は、自給自足をしている人々の生活に大きな危害を及ぼした。塩水により作物は育たず、主食であるタロイモの収穫高が激減しているのだ。これに伴う食生活の変化は、糖尿病や高血圧などを引き起こし、ツバルの人々の健康状態に影響を及ぼしている。

また、海面上昇だけでなく海水温上昇によっても変化が見られる。はじめに述べたように、ツバルは珊瑚礁でできた島から成り立っている。その珊瑚礁が、海水温の上昇に伴い白化してきているのだ。そして同時に魚にまで波及していて、よって魚の数が減少し、漁獲高も減ってきているのだ。もともとツバルの人々は釣りをする際に、その日に食べる魚しか獲らない。理由は、そのほうが新鮮でおいしいし、冷蔵庫がないこと、そして一気に獲ってしまうと魚が絶滅してしまうかもしれないからだ。そんな気遣いも温暖化による影響に、なんの役にも立たないのである。

---

<sup>2</sup> <http://www.nikkei.co.jp/kaigai/asia/20071206D2M0601Q06.html>

<sup>3</sup> <http://www.nikkei.co.jp/kaigai/asia/20071206D2M0601Q06.html>

もし、ツバルという国が大きくて経済的にも裕福な国家であれば、このような現状をアピールし防ごうとなにか対策を立てることができたかもしれない。しかし残念なことに、ツバルにはそのような行動を起こせるほどの資金が無いのである。

#### <私たちにできること>

地球温暖化の原因は二酸化炭素の排出にある。ツバルの人々の生活から出される二酸化炭素の量はほんのわずかである。それにもかかわらず、彼らは誰よりも先に、誰よりも深刻にこの温暖化の被害を受けている。安らかな平和なツバルの暮らしを脅かしている原因は彼らにあるのではなく、二酸化炭素を出している先進国に住む私たちにあるのだ。

温暖化による海面上昇によって被害を受けるのはツバルだけではない。同じ島国である日本も同じようリスクを背負っているはずだ。それにもかかわらず暮らしの便利さを優先させて、人々は二酸化炭素の排出量を少なくしようなど考えていないように思える。この問題は「発展途上国」だけが背負っている問題ではないのだ。私はまず、人々が地球温暖化と海面上昇、海水温上昇という事実を個人レベルで意識することが必要とされていると思う。国際環境NGO、Friends of the Earth Japan がアピサイ首相にインタビューを行った際に、彼は「貧しい国々に住む貧しい人々やあなたの友のことを思って欲しい。今後土地とともに消えてなくなってしまうかもしれない、貧しい国々のことを考えていただきたいと思います」<sup>4</sup>と述べた。この言葉は、私にとってとても衝撃的なものであった。このレポートのためにツバルの現状について調べだし、ツバルの現状の深刻さを理解したときに、私自身初めてそのことの重大さに気がついた。海面上昇などの問題があることは知っていたつもりだった。しかし、心のどこかで私には関係ない、しかも世界レベルで起こっていることなのだから私 1 人が何かをしたところで現状は何も変わらないと思っていた。でも首相の言葉を聞いて、それは間違えだったことに気がついた。ちょっとしたことで「ちりも積もれば山となる」ということわざのように大きな変化へとつながるかもしれない。それは例えば、節電、自家用車を使わず公共の交通機関を使う、冷暖房は必要以上に使わない、などの簡単なことでも良いのだと思う。なすことの影響の大きさよりも、「なにかしている」という事実のほうが大切である。温暖化による海面上昇を防ぐために、海面上昇によってふるさとが無くなってしまうかもしれないツバルの人々のために、自分も加担者の 1 人ということ意識して、温室効果ガスの排出量を少なくしていこうと思う。

小さな変化はちょっとした気遣いから。その気遣いが重なり、いづれ大きな変化へとつながるのだ。ツバルの水問題を他人事とは思わずに、同じ島国に住むもののひとりとして、地球温暖化に伴う水面上昇の事実を受け止めていきたいと思う。

---

<sup>4</sup> [http://www.foejapan.org/pacific/issue/tuvalu\\_pm\\_interview.html](http://www.foejapan.org/pacific/issue/tuvalu_pm_interview.html)

<参考資料>

- ツバル-Wikipedia, encyclopedia <  
<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%84%E3%83%90%E3%83%AB>>  
2008年1月31日アクセス
- NIKKEI NET(日経ネット) 島国ツバル、温暖化で水不足深刻・首相インタビュー  
2007年12月18日 <  
<http://www.nikkei.co.jp/kaigai/asia/20071206D2M0601Q06.html>> 2008  
年1月31日アクセス
- 緊急取材『海に沈む国』の危機 2007年4月18日放送 <  
<http://webnews.asahi.co.jp/you/special/2007/t20070418.html>> 2008年1  
月31日アクセス
- ツバル Tuvalu Overview <<http://tuvalu.site.ne.jp/index.html>> 2008年1  
月31日アクセス
- 『ツバル 地球温暖化に沈む国』 著者:神保哲生 春秋社、2007年7月
- FoE Japan <<http://www.foejapan.org/pacific/index.html>> 2008年1月  
31日アクセス